

高柳地区コミュニティ通信 (新春増刊号)

第 90 号【発行 令和4年1月5日】
高柳地区コミュニティ振興協議会
〒945-1595
柏崎市高柳町岡野町 1849-1
TEL & FAX: 41-2234
E-mail: c-takayanagi@kashiwazaki-cc.net



年頭にあたり

高柳地区コミュニティ振興協議会
会長 田邊 正通

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

コミセンでは昨年と一昨年の2年に亘り新型コロナウイルスの感染防止の為に、様々な事業を中止したり変更したりしてきました。そのために町民の皆様にはいろいろなご不便をお掛けしていると思っております。

◎新年賀詞交換会の中止について

毎年1月5日に開催しております「新年賀詞交換会」において各界の方々から新年のごあいさつをいただいております。

しかし、いまだ世界では変異株発生などにより流行の波が繰り返し起きており、終息の兆しが見えないことや飲酒を含む会合を行う会場、参加人数等をふまえ、今年も中止することとしました。そこで、この紙面をもって皆様から年頭のごあいさつをしていただくこととしました。

◎株じよんのび村が新体制でスタート

株じよんのび村は10月から新たに吉村英治さんが社長に就任し、新体制でスタートしました。

吉村社長は経営改善にいち早く着手し、次々と新しい企画を立案し実施しています。中でもつり橋のイルミネーション点灯式では「きれいだね」と歓声と拍手が上がり、訪れた人達に幻想的な感動を与えてくれました。

株じよんのび村は高柳地域にとっては無くてはならない施設です。特にこども自然王国や荻ノ島、門出かやぶきの里、石黒地域で始めた石黒屋などの活動においても地域活性化の拠点施設として大変重要な役割を担う施設です。市だけに頼らず地域としても全力で応援して行きたいと思っております。

◎雪まつり「YOU・悠・遊」の開催

天候不順(大風)や新型コロナの影響で過去2回の雪まつりが中止になってしまいました。

そうしたことから未だに新型コロナに対する心配は払拭したとは言えない状況ですが、今年こそは何とか実施したいという関係者の強い思いから開催することになりました。➤

今回はじよんのび村とこども自然王国を会場にして、2月26日(土)27日(日)に開催されます。

開催に向けて企画委員会ではその準備を精力的に進めております。新たな場所で開催される今年の雪まつりがどのようなものになるのか期待し、是非お越しください楽しんでください。

◎高柳保育園の休園

高柳保育園は今年3月末で休園することが決まりました。「高柳保育園・高柳小学校に関する検討委員会」を立ち上げ関係者の皆さんと協議を重ねてまいりましたがこうした結果になってしまったことは大変残念なことです。

しかし、高柳町でも容易で、楽しい子育てができる地域を目指して、これからも取り組んで行きたいと思っております。

◎「まってるすけ高柳」の創刊

皆様には既にご覧いただいていることと思いますが、コミセンの「じよんのび部会」の活動事業で「まってるすけ高柳」を毎月発行していきます。

町内外に向けて高柳町への移住定住の促進を図ることを目的に地域の情報や活動を発信しています。皆様からのご意見や情報をお寄せください。

◎くらしのサポートセンター和(なごみ)

くらしのサポートセンター和は高齢者の皆さんがこの高柳町で、いつまでも自分らしく生き生きとした生活することを応援する場です。

現在、約100名の方からご利用いただき茶話会やコツコツ貯筋体操、趣味活動や地域交流などで楽しく和やかに活動しています。まだ利用されたことのない方は、是非ご参加をお待ちしております。

コミセンは地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う地域づくりの中心的な役割を担っております。皆様におかれましては引き続き地域のためにご活躍くださるようお願い申し上げます。

最後に新型コロナの一日も早い終息と皆様の益々のご健勝を心からご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

今年もよろしくお祈りいたします。





新年のご挨拶

柏崎市市議会議員
村田幸多朗

明けましておめでとうございます。

昨年はコロナに翻弄された1年間となってしまう今年こそはとの思いがありますが、新たなオミクロン株による感染が世界各国で拡大し、心配の種となっています。

昨年は広域の移動を制限された期間もあり、多くの分野に大きな影響がありました。

帰省控えの中で盆踊りなどの地域行事の中止や各種イベントが縮小・休止となり、物足りない1年間でした。

そんな中で「NPO 石黒邑」の交流拡大の活動、「もんぺこ」の岡野町商店街活性化の取組み、「狐の夜祭り実行委員会」の来年こそはとの思いでの狐道の草刈り、「黒姫山を楽しむ会」の登山道整備の活動などにはあきらめない高柳の人々の姿を見て、心強く感じております。

特に経営陣を一新して再興を期す「じよんのび村」を支援しようとするつり橋をイルミネーションで輝かせ、誘客に大きな役割を果たした有志の方々のアイデアと行動は私達の心も明るくしてくれました。「柏崎の宝、じよんのび村」に期待し、是非足を運び皆で応援しましょう。

議会では多くの議員が「高柳の課題は周辺地域共通の課題」との認識で動きも生まれていますが、基礎的なインフラである保育園が南鯖石に続き高柳保育園も休園することは大きなショックで受け止められています。

若者の移住定住の促進は市の大きな柱でもあります。

「高柳に保育施設はありません」ではこの高柳に魅力を感じ、ここで暮らしたいと希望する若者の移住定住の動きにブレーキをかけてしまいます。移住して来てくれた方々は農業の担い手、除雪要員、観光産業スタッフなどとして地域生まれの若者と共に活躍いただき、高柳に希望を与えてくださっています。

地域への移住促進策として大いに期待し、国の支援がほとんどの「地域おこし協力隊」の制度活用もうまくいかないのではないのでしょうか。人口が高齢化の自然減で徐々に減るのは致し方ないとしても、外部の人材を引き込む活動を諦めてはなりません。

私個人は微力ではありますが、志を同じくする地域の仲間や理解ある議員の方々と力を合わせて、地域の活性化や地域課題の解決に取り組んでまいります。

最後に皆様にとって、コロナを乗り越えての明るい本年となることをご祈念し挨拶いたします。



年頭のあいさつ

高柳町地区連合会
会長 大倉正大

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、地区連合会の活動にご理解頂きまして、ありがとうございます。

一昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大から地区の活動を停止もしくは、三密の回避、ソーシャルディスタンスを保ちながら会議やイベント行事を行っています。各地区会長さんも感染状況を見ながらアクセルとブレーキを踏んできましたが、感染拡大で誰もが想像できない状況の中で閉塞感が増しブレーキを踏むことが多くなりました。

しかし、そんな時だからこそ、岡野町振興会では行政福祉、コミセンの指示や伝達事項及び毎月の理事会決定事項、町内の動き等回覧板を通してみなさんに月2回程度「お知らせ」してきました。当面継続していきたいと思えます。

さて、今高柳町は、高齢化、少子化、過疎化が想像以上に進み高柳保育園も、4月から休園し鯖石保育園と統合します。柏崎農協高柳支店は1月24日より東部田尻支店の高柳よりそいプラザとなり貯金通帳や各種証書の管理、出資金や購買取引先の管理は出来なくなります。(よりそいプラザは地域と組合員と利用者をつなぐ相談店舗で現金の取り扱いは硬貨対応型ATMだけになります。) 地域の環境変化が激しく、コロナも収束しない中で各地区の皆さんのお互いに助け合う気持ちで成り立っているのが現状だと思います。今後は、その地域だけの問題解決、活動ではなく高柳地区連合会、高柳コミセン、老人クラブ、農業委員会等と連携した中での活動を進めて行かなければならないと思います。この状況の中でも高柳の宝でありますじよんのび村、こども自然王国、貞観園保存会のみなさんが今一番頑張ってくれています。地域も協力し必ず守っていきましょう。

最後に早くコロナウイルスが終息し、普通の生活に戻りますように願っています。





新年に寄せて

高柳町商工会
会長 関井 忠和

新年あけましておめでとうございます。旧年中は地域の皆様、会員の皆様から格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

さて、皆様におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

昨年も残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により、商工会の様々な事業を二年続けて中止せざるを得ない事態となりました。現在は新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いてはおりますが、新たなオミクロン株なるものが出現し、その動向が注視されております。

皆様もご承知のとおり新型コロナウイルス感染症が地域経済に与えた影響は大きく、地域の疲弊を一層進めております。高柳町商工会としましても、経済活性化対策として柏崎市や柏崎商工会議所、市内商工会と協力をした「元気発信スタンプラリー」や「GOTO イート」、「GOTO 忘新年会」など各種事業並びに補助金、支援金等申請支援事業を中心に実施し、対応してまいりました。

本年につきましても各種支援金、補助金の申請支援や経済支援を中心に商工会活動をしていきたいと考えております。

一方、昨年新聞報道でもありましたか新潟県の補助金削減や商工会員の減少により、県内商工会の合併論議が各地でされるようになりました。高柳町商工会も同様について議論が始まり、現在、柏崎市内の3商工会で令和5年4月の合併に向けて協議を進めております。合併にともなう課題は山積しておりますが、高柳町商工会は合併後、会員の皆様、地域の皆様に不便の無いよう支所として存続する方向で進めさせていただいておりますので、ご安心いただければと思います。

また、高柳町地区の事業者も減少の一途をたどっておりますが、地域の活力を担っている小規模事業者は地域住民のご支援がなければ立ち行かなくなる事業者がほとんどです。ぜひ、地元事業者を積極的に利用していただけたら幸いです。

今後も高柳町商工会会員一丸となり、行政、関係団体と連携しながら、高柳町地区の活性化の一助となるよう粉骨砕身努力をしてまいります。

高柳町商工会会員へ引き続きご指導、ご鞭撻を賜るようお願い申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束とご家族の健やかな一年を祈念し、新年のご挨拶といたします。



実社会で「夢」を叶える生徒の育成

～『学校』づくりは『ふるさと』づくり～

柏崎市立第五中学校
校長 小熊 哲也



Dreams come true!

「夢は見るだけでなく、叶えるもの！」
着任して最初に生徒へ贈った言葉です。

小規模な本校の生徒一人一人が、実社会で臆することなく、個々が『夢』を抱き、その『夢』を叶えるために、持続可能なキャリア教育の在り方を追求しています。

実現に向けて水曜日の昼休み、校長室を生徒に開放し、『夢・進路相談室』と入口に看板を掲げ、生徒と将来について、熱く語り合っています。



私が大学卒業後、横浜でレストラン経営したこと・その後バンドデビューしたこと・CDが全く売れずに教師になったこと等、様々な実体験を聴かせ「ドキドキ」させながら、誰もが「将来を夢見る」ことへの「ワクワク」感を育み、失敗を恐れず、挑戦することが一番大切なのだと教えています。



また玄関廊下にキャリア教育ボードを設置し、『実社会で活躍する大人から学ぼう！』と銘打って、子どもたちの将来に向けた「生きるコツ」を、来校者一人一人から生徒に助言してもらったり、色紙に書いてもらったりしています。

記録と記憶に残る実社会の先輩方々からの名言・格言を可視化し、個々がポテンシャルに気づき、未来へ挑戦するきっかけとなるようにと願い、広くスペースを取って公開しています。

記録と記憶に残る実社会の先輩方々からの名言・格言を可視化し、個々がポテンシャルに気づき、未来へ挑戦するきっかけとなるようにと願い、広くスペースを取って公開しています。

「学校づくり」は「ふるさとづくり」です。第五中学校が、地域コミュニティの拠点となり、国の宝である子どもたちが、不透明な新型感染症禍の中を強く、逞しく生き抜き、「夢」を抱き実現させ、そして五中を巣立つ生徒全員が、『幸せな将来』を築くことができるよう、持てる力の全てを出し切る覚悟です！

第五中学校職員一同、本年も何卒宜しくお願い致します。





本年もよろしくお願いたします

柏崎市立高柳小学校
校長 朝賀 壮也

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。旧年中は、格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。本年が皆様にとって、最良の年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

私は 2021 年 4 月から高柳小学校に赴任してまいりました、高柳小学校校長の朝賀壮也（あさが まさや）です。賀詞交歓会にて直接お会いして、皆様方に御挨拶することができず、大変残念に思っております。

昨年はコロナウイルス感染症対策で、まず、子ども達の命を守るという視点から、いろいろな活動に制限がかけられました。そんな中で、高柳こども運動会は雨天で体育館での実施となったものの、地域の皆さまや保護者の皆様から御協力を賜り、盛会のうちに終了することができました。また、高柳こども音楽会は、御来賓に御案内をだせなかったにもかかわらず、50名以上の方から御来校いただき、にぎやかに実施することができました。そのおかげで、子ども達は成就感や達成感を味わうことができました。これも、地域の皆様・保護者の皆様の御理解と御協力の賜物と感謝しております。

さて、昨年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、賑わいを見せました。心配された感染症拡大は起きませんでした。その要因は、高いワクチン接種率にあると言われています。私は、その他にも日本人の高いモラルが関係していると考えます。法規制をしたり、罰則を設けたりしなくても「自粛」することができる日本人、弱い立場の人を思いやることができる日本人だから感染拡大を防ぐことができたと思うのです。高柳小学校でも、他人を思いやることのできる優しい子どもを育てていきたいと思っております。

2022 年は寅年です。寅は「動」の意味があり、植物に例えると草木が発芽する状態を表し、芽の出たものが成長していく年と言われています。昨年はウィズコロナでいろいろな常識が変わりました。寅年の今年は新しい生活様式の礎の年になるかもしれません。高柳小学校でも新しい生活様式を取り入れ、新しいことにチャレンジしながら、一方で今までと変わらず、地域に根差した教育を進めて参ります。どうぞ、本年も高柳小学校をよろしくお願いたします。



新年のごあいさつ

柏崎市立高柳保育園
園長 中島 聡子

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。地域の皆様には日頃より保育園に関しまして、温かく見守っていただきありがとうございます。

今年度、園児数3人でスタートした高柳保育園。4月の頃は初めての集団生活に涙がでたお子さんもいましたが、すぐに保育園での生活に慣れ、お友達や職員と一緒に元気いっぱい・笑顔いっぱい楽しく過ごすことができました。

春は保育園の周辺をお散歩し、「お散歩マップ」を作りました。小さな足で丁寧に散歩することで新たな発見があり、保護者の方からも「こんな場所があったなんて知りませんでした」との声もいただきました。

夏は保育園の駐車場でビニールプールでの水遊びを楽しみました。ジョーロや水鉄砲でたくさん遊び、水と仲良しになりました。また8月には高柳・地域で子どもを育てる会や地域の皆様に園庭の草刈りをしていただきました。ありがとうございました。

秋はハロウィンを満喫。かわいいお化けの衣装をして保育園近くの職員宅に「トリックオアトリート！」とお出かけしました。12月には JA 女性部の皆様から耕していただいた畑に植えた大根を収穫し、おでん作りに挑戦。自分たちで作ったおでんのおいしさに、笑顔がこぼれました。

冬は何をして遊ぼうかと、子ども達も職員も楽しみながら考えているところです。

高柳の豊かな自然のなかで伸び伸びと過ごしてきた子ども達。お散歩の際には出会った地域の方々から、いつも温かい声をかけていただき大変うれしく、ありがたい気持ちでいっぱいです。子ども達が地域の皆様からいかに愛され、大切にされているのかを心から感じています。

園児数が減少し、集団保育としての機能を果たすことが難しくなったことから高柳保育園は 22 年度から休園することとなりました。地域の皆様には長らくご支援・ご協力をいただきまして深く感謝しております。これからも一人ひとりの個性を大切にしながら、子ども達の健やかな成長を職員一同、力を合わせて応援していきたいと考えております。

本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げ、また感染症の1日も早い終息を願って、新年の挨拶とさせていただきます。

